

—5月の表彰—おめでとうございませう

5月16日(木)、中間テストが終わった後の第6校時、体育館で全校集会を行いました。6月9日に行われる水泳を残し、ほぼ1カ月にわたって熱戦が繰り広げられた市春季大会と、大泉文化むらで行われた吹奏楽部の東部地区ソロコンテスト、そしてボウリングに関わる表彰です。表彰されたのは以下の人たちです。おめでとうございます。

【バスケットボール】 ※敬称、記録略 (数字)は学年

○ 市春季大会 (兼桐生市長杯スポーツ交流大会)

女子 第3位 K. T (3) Y. I (3) T. K (3) Y. M (3)
A. M (3) N. H (3) M. S (3) M. Y (3)
A. R (2) T. M (2)

【バレーボール】

女子 第3位 E. M (3) Y. K (3) Y. K (3) Y. N (3)
T. H (3) K. S (3) N. I (3) K. K (2)
M. Y (2) K. R (2) O. J (2) K. T (2)

【陸上】

○ 市春季大会

女子共通走高跳 第2位 F. Y (3)
第2位 K. R (2)
女子共通100mH 第3位 T. K (2)
男子共通走高跳 第4位 S. H (2)
男子共通砲丸投 第5位 Y. Y (2)
男子共通3000m 第5位 M. Y (2)
女子共通4×100mR 第6位 T. S (2) F. Y (3) M. Y (3) T. K (2)
女子共通200m 第7位 F. Y (3)
女子共通走幅跳 第8位 M. Y (3)
女子2年100m 第5位 T. K (2)
男子1年100m 第1位 H. Y (1)
女子1年走幅跳 第4位 K. R (1)
女子1年800m 第4位 A. K (1)

○ 市陸上競技記録会

男子共通砲丸投 第2位 K. Y (2)
女子共通走高跳 第2位 K. R (2)
男子共通走高跳 第3位 S. H (2)
男子1年100m 第2位 H. Y (1)

【柔道】

○ 市春季大会

男子81kg級 優勝 Y. Y (3)

【吹奏楽】

○ 東部地区ソロコンテスト

打楽器の部 スネア独奏 銅 賞 中央中A S. N (3)

金管楽器の部 チューバ独奏 銅 賞 中央中B T. N (3)

【ボウリング】

○ オール関東ジュニアボウリングトーナメント

第6位 K. M (3)

答案の活 (い) かし方

令和最初の定期テストである一学期の中間テストが終わりました。久しぶりの定期テストということ、そして、1年生の皆さんにとって

は初めての定期テストということで、生徒の皆さんのプレッシャーも相当大きかったのではないのでしょうか。学力向上のために、返却後の答案を今後どのように活用していけばいいのか、寺島は、全校集会において以下のような話をしました。

中間テストお疲れ様でした。令和になって初めての定期テストでしたが、手応えはどうだったのでしょうか？1年生のみなさんにとっては生まれて初めての定期テストだったので、大変だったことでしょう。

さて、今日は、そのテストに関わることをお話しします。

テストが終わると答案が返されます。90点ならば胸を張ってお家の人に見せられますし、自分でも何度も見たくなることでしょう。ところが、30点しかとれなかったとすると、どうも見せたいという気持ちにはなれないし、自分でも二度と見たくないという気持ちになり、机の奥深くにしまい込みたくなくなってしまいます。

実にもったいない。なぜならば、その人は勉強ができるようになるチャンスを自ら捨てているようなものだからです。

そのチャンスとはどんなものなのでしょう？

勉強ができるとは、簡単に言うと、教わったことが「分かる」ということです。

それでは、「分かる」とはどういうことなのか？

「分かる」という言葉の成り立ちを調べると、使われている漢字からも明らかのように、左と右にものを切り「分ける」から来ていると言われています。

それでは、勉強において何と何を分けるのかというと、「分かっていること」と「分からないこと」です。つまり、「分かる」とは、簡単に言えば「分からないこと」を「分かる」ようにすることで、そのためには、何が分かっているかを見極める必要があります。テストは、それをはっきりさせるためのきっかけなのです。

テストが返されると、私たちは、どうしても点数をイメージでとらえてしまいがちです。すなわち、90点は「よい」30点は「悪い」といった具合にです。でも、数字をありのままに受け止めていくと、90点をとった人でも10%は分かっているわけですし、30点の人でも内容の30%は理解できているのです。ですから、答案を机の奥にしまい込むことは、せっかく理解しているその30%の内容も消し去ることにつながります。あとには「僕は勉強ができない」とか「僕は頭が悪い」といった劣等感が残るばかりです。

間違えないでください。30点しかとれない人は学習内容の30%しか分かっているだけですが、勉強ができないわけでも頭が悪いわけでもありません。分かっているところを分かるようにしていれば、点数はとれるようになるのです。

もちろん、そのためには大変な努力が必要になりますが、大変なのは最初のうちだけです。一度その壁を乗り越えれば、あとは、そういうものとして当たり前のように机に向かうことが習慣になります。返された答案をどのように活(い)かしていくか、それでみなさんの今後が変わってきます。頑張りましょう。